

# 人生観を育てる道德教育とは ～将来を切り拓く心を育てるために～

社会に出ても人生の目標が見つけれない若者が増加していると言われます。それは単に彼らが無気力ということだけでなく、正しい職業観や人生観を培う機会を与えることができなかつた学校、あるいは大人社会に対する警告でありましょう。

若者の職業観や、結婚観などを含めた人生観というものは、まず学校教育においてその基礎部分が作られるべきではないでしょうか。そして道德教育の役割とは、人生観の基礎部分のなかに、前向きな判断や正しい行為につながる善い指針を持つ心を培って、しっかりとした人生観を形成することを促していくことではないでしょうか。

本シンポジウムでは、この「人生観」を育てる道德教育をテーマとし、児童生徒が学校を卒業しても、心に残るような道德授業や、着実な道德教育の積み重ねから得られる成果に着目し、研究発表、全体討議を通して道德教育の実践のあり方を明確にしていきたいと思います。

**とき** 平成16年8月20日(金) 10:00～17:00  
(懇親会17:30～19:00)

**申込み** 申込み票を郵送、Fax、E-mail で送付ください。  
入場整理券を送ります。(先着230名)

**ところ** 国立オリンピック記念青少年総合センター  
国際交流棟 国際会議室  
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

**参加費** 2,000円 資料代として  
(懇親会は別途3,000円)  
※改めて振込用紙を事前にお送りします。

## 午前の部 (敬称略)

小学校、中学校現場の実践事例から人生の指針となる  
「道德の時間」を考えていきます。

発表1 早川 裕隆(千葉県市川児童相談所児童福祉司)

発表2 山浦 貞一(長野県教育委員会教育支援主事)

全体討議

シンポジスト 発表者2名

指定討論者 安彦 忠彦(早稲田大学教授)

〃 藤田 昌士(元立教大学教授)

コーディネーター 林 泰成(上越教育大学助教授)

## 午後の部 (発表順は未定、敬称略)

先進的に実践研究に取り組む研究者、教員より、人生観を育む  
道德教育をご提言いただきます。

発表1 田沼 茂紀(高知大学教育学部教授)

発表2 桃崎 剛寿(熊本市立武蔵中学校教諭)

発表3 七條 正典(香川大学教授・香川大学教育学部附属坂出中学校校長)

全体討議 シンポジスト 発表者3名

指定討論者 安彦 忠彦(早稲田大学教授)

〃 藤田 昌士(元立教大学教授)

コーディネーター 林 泰成(上越教育大学助教授)

## 連絡先

財団法人 <sup>うえひろ</sup>上廣倫理財団 道德教育シンポジウム係 担当 上田博次

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3 TEL. 03-3261-8711 FAX. 03-3261-8747 E-mail ueda@rinri.or.jp

財団法人上廣倫理財団『道德教育シンポジウム』参加申込み票

平成16年 月 日

フリガナ		フリガナ	
ご芳名		学校名 (勤務先)	
連絡先	〒 ( 学校 ・ 自宅 ) ○で囲む		懇親会 (○で囲む)
	TEL. ( )	FAX. ( )	出席 ・ 欠席
	E-Mail		